

# 魅力いっぱい 福山のまち



演奏を披露する福山高校吹奏楽部  
＝霧島市福山の羽山神社

## 響く音色 広がる笑顔

羽山まつり  
吹奏楽部が初参加

霧島市福山町佳例川の羽山神社で3日、伝統の「羽山まつり」があった。限界集落の同地区を活気づけようと、地元の福山高校吹奏楽部が初めて参加。心地よい音色が響き渡り、大勢の住民が集まった会場に笑顔が広がった。

羽山まつりは、牛馬

や農耕の安全を祈願するもので、同神社が創建された1732年から続くといわれる。初参加の福山高校吹奏楽部は、2年前に愛好会として復活し、今年4月に部活動へ昇格した。生徒11人は緊張しながらも、「学園天国」など3曲を披露。会場からは温かい拍手が送られた。部長の3年森山佳苗さんは「これからも地域のいろいろな場所で演奏し、多くの人に喜んでもらえる」と語った。

佳例川地区自治公民館長の井料郁さん(68)は「少子高齢化で苦しいが、伝統あるまつりを絶やさずに続けていきたい」と話した。ステージでは、第一工業大学の学生によるエイサーの演舞などもあった。(山下翔吾)